

文京区

町会ってなんだろう?どんな活動しているの?あらぶんちよ地区の町会長にお聞きします

あらぶんちよ町会見聞録

第13回



町会に参加すると、地域に仲間ができたり、自分が住んでいるまちに対して愛着が生まれたり。まずはお祭りやイベントに参加してみよう!



災害に備えた防災訓練を 中心に、若い世代とも 積極的に親睦を深める

掲示板やホームページにより、町会の情報を幅広くアピール

目白台雑司ヶ谷町会 会長 窪田 新一さん



●目白台雑司ヶ谷町会

昭和26年4月に結成。現在では、町会エリアのほとんどを住宅地が占め、世帯数は約1050。そのうち、町会に加入している世帯数は約700。年間の主な行事は、防災訓練、ラジオ体操、バスハイク、夜警、交通安全運動など。

町会の情報の周知に 掲示板を有効活用

30年くらい前までは不忍通り沿いの商店街も活気があったのですが、今では町会のほとんどが住宅地です。新しく戸建ができる若いうちは、引っ越ししていらして町会に加入するので、若い世代の方も増えていきます。皆さんお忙しいですが、休日の行事には参加してくださる方もいらっしやいますね。

町会としては、会員相互の親睦を深めることを大切にしています。町会にはさまざまな情報が入ってきますが、皆さんに知っていただくことも大事ななところだと思っています。その方法の1つとして掲示板を活用しています。17力所ある掲示板に、近隣の催し物のお知

らせや警察、消防のポスターのほか、毎月、自分たちで作成した「町会ニュース」を掲示して、町会の行事も告知・報告しています。若い方たちへのアピールとしては、文京区の「どっとファミコム」というサイトを活用して、目白台雑司ヶ谷町会のページも開設しました。町会のメールアドレスも掲載していることで、メールでもご連絡いただくこともありますね。掲示板も、ホームページも、放置するのはみっともないので、ちゃんと管理するように気をつけています。

防災ハンドブックの配布 など、意識向上に努める

活動の中で一番力を入れているのは、地震への備えです。高齢の方の安否確認をしたり、「一時集合場所」を4カ所設けて、そこに集まったらどうするか判断するといった訓練を行っています。「防災ハンドブック」も町会で作成し



さまざまな情報が満載の掲示板。雨で破れてしまわないように、透明のビニール袋に入れて掲示している。



防災訓練には、毎回120名ほどが参加する。防災ハンドブックを配布し、情報を共有。

町会の活動を通して、 地域の親睦を深めたい

そのほかにも、希望者を募ってバスでの半日旅行を行ったり、入学祝いのほか、敬老の日にお赤飯、子どもの日にお菓子を配ったりしています。年末には火の用心と防犯を呼びかける夜警も恒例です。町会の活動を通して、地域の親睦を深めていきたいですね。

また、町会のエリア内に、東京大学の留学生向けの宿舎が建設中です。秋ごろには完成して約700人ほどの留学生の方が入居されるということなので、町の様子にも変化があるのかなと思っています。



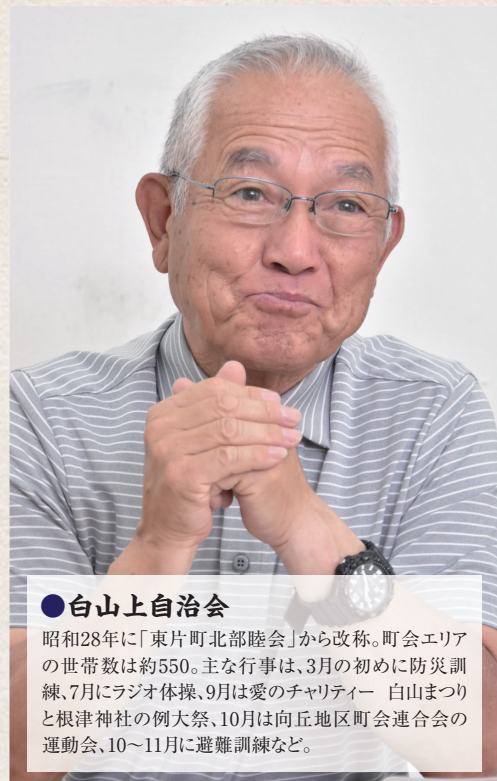
祭りや防災・防犯など 商店街と連携しながら 町会の活性化を目指す

新しい住民の方々とも互いに顔が見える関係を築きたい

白山上自治会 会長 寺澤 弘一郎さん

エリア内の7割近くが白山上向丘商店街、という町会です。商店街と町会のかかわりも強く、商店街の発案で昭和39年にスタートした「愛のチャリティー 白山まつり」は、町会も協力しながら毎年9月の最初の土日に開催。今年で56回目になります。商店街の通りを2日間歩行者天国にして、盆踊りや子ども向けのゲーム、模擬店や物産即売会など、かなりの人出で盛り上がり。収益金は東日本大震災で被災した小学校や地元の社会福祉協議会などに寄付しています。最近では商店街の活気がなくなっている地域も多いと思いますが、町会と商店街が協力し

白山上向丘商店街と 協力してイベントも開催



●白山上自治会

昭和28年に「東片町北部陸会」から改称。町会エリアの世帯数は約550。主な行事は、3月の初めに防災訓練、7月にラジオ体操、9月は愛のチャリティー 白山まつりと根津神社の例大祭、10月は向丘地区町会連合会の運動会、10～11月に避難訓練など。



2016年の根津神社例大祭では、23の氏子町会による連合宮入を実現。神輿の駒札には「東片北陸」の文字。

ながら、これからも活動していきたいですね。
マンシヨン住民との関係を深めることが急務
このあたりでもマンシヨンの参加は進んでいないのが現状です。昔からの住民とマンシヨンの方の触れ合いがなく、互いに顔の見えない地域になつてしまふのではないかと懸念しています。町会で防災訓練や避難訓練を行っていますし、やはりお互いに顔見知りであると安心です。マンシヨンに住んでいる方とお話する機会があつたのですが、新しく引越してくるとなかなか自分からは町会に入りたいと言いくい：とおっしゃっていました。町会では、根津神社の例大祭に参加したり、陰祭りの年にはレクリエーションとしてバス旅行などを企画しています。こういったイベントを町会参加の機会として



根津神社例大祭が一年おきに陰祭りになる年に行っているレクリエーション。写真は富士山へのバス旅行。

活用いただけると思いますね。マンシヨンには小さいお子さんがいらつしやるご家族も多いので、町会の行事を通じて幼いころから地域の人と触れ合うことで、引きこもりなどの問題を減らす手助けにもなるのではないのでしょうか。
防犯カメラを設置し
地域の見守りにも貢献
今年の4月1日に、町会のエリアに7台の防犯カメラを設置しました。犯罪の抑止力にもなりますし、子どもの通学の見守りにも効果があると思います。設置には区から助成金が出て、電気代なども補助されるので、それを活用しています。また、町会で高齢者の見守りも始めました。商店街ではお総菜屋さんや書店など、お店の人が外を見ている商売も多いので、そういったところも活用しながら、見守りにも力を入れていきたいと思つています。

TCNからのお知らせ①

第10回 あらぶんちょドラマチックフォトコンテスト 作品募集!!

TCNでは地域の魅力発信に貢献するべく、「あらぶんちょドラマチックフォトコンテスト」をスタート、第10回目の開催を迎えました。今年も「いまを写す」をテーマに、あらぶんちょエリア(荒川区・文京区・千代田区)で撮影した写真を募集いたします。グランプリ賞金10万円をはじめ、各賞受賞者には豪華賞品を贈呈! ご応募お待ちしております。

●詳細は、<https://www.tcn-catv.co.jp>からフォトコンテストバナーをクリック!

応募期間 2019年7月1日(月)～8月31日(土)
※当日必着
作品条件 あらぶんちょ(荒川区・文京区・千代田区)エリア内で撮影したもの
応募方法 郵送・持参・WEB





近隣の町会と合同で 盆踊りの復活など、 新たなイベントも企画中

町会のモットー「自助・共助・公助」の精神で防災面の強化を

音羽九桜町会 会長 徳野 博信さん

「音羽九桜町会」は、旧町名の音羽九丁目と桜木町から名付けられています。通常は江戸城を起点に一丁目、二丁目となりませんが、この地域は護国寺を起点に町名が付けられていたため、以前は当町会のあたりが音羽九丁目でした。昭和42年に町名が変わりましたが、旧町名を残した「音羽九桜町会」という名称はなかなか格好いいですよ（笑）。

音羽は護国寺の門前町という風情で、下町のような雰囲気があります。当町会は、19町会からなる音羽地区町会連合会に属していますが、特に音羽通り沿いの10町会とはかわりが深く、祭りや防災訓

練などさまざまな行事を合同で行う機会も多くあります。



●音羽九桜町会

昭和28年8月に結成。町会エリアの人口は817人。町会に加入している世帯数は351。音羽の19町会からなる音羽地区町会連合会など地域の団体と連携しながら、江戸川公園での花祭り、観桜会、防災訓練、今宮神社例大祭など、さまざまな行事を行っている。

自助・共助・公助の 精神で防災訓練を実施



東京都底力再生事業助成を活用した2015年の防災訓練。新宿区の鶴巻南公園まで、徒歩での水くみを実施。

練などさまざまな行事を合同で行う機会も多くあります。昨年からは、江戸川公園に隣接する6町会合同で、防災訓練を行っています。今年も6月に行いましたが、250人が参加し、盛況でした。江戸川公園には、ベンチの両側を外して使う災害用のかまどや、神田川から水をくみ上げて使用する簡易トイレなどが備えられています。いざというときのために使い方を一通り学べるので、いい経験になります。また、炊き出し訓練としてカレーライスを用意しました。レトルトではなく、野菜を切ってちゃんと作ったので味も評判でした。

今後は、区の補助金を活用して防犯カメラを3カ所設置予定です。当町会の「自助・共助・公助」をモットーに、隣接する町会との連携も強化

しながら、防災、防犯対策を充実させていきたいです。

例大祭や盆踊りを 町会参加のきっかけに



防災訓練のポスター。パソコンで作成して掲示し参加を呼び掛けている。

音羽地区の10町会が参加して毎年9月に行われる今宮神社の例大祭は、年間を通じて最大のイベントです。今年も8月31日、9月1日の2日間です。これまで隣接の音八会が宵宮神輿を渡御していたのですが、今年も加わります。私もお神輿を担ぐ予定です。

8月3日には今年初めて、関水町会と合同で盆踊りを企画しています。昔は恒例行事だったのですが自然消滅したということで、復活して続けていけるといいですね。江戸川公園にやぐらを立てて実施したいと思っています。若い世代にも町会に参加していただきたいので、イベントをきっかけに興味を持っていただけると嬉しいです。

「あらぶんちよくんプランター」でお花を育てよう！ 花の種・プランター一式プレゼント

エコ活動をしている町会・自治会に「あらぶんちよくんプランター」を進呈！ きれいで明るい街づくりのお手伝いをいたします。

☆2019年7月現在の「あらぶんちよくんプランター」設置町会(五十音順)

- 大塚四丁目協力会(文京区大塚)
- 後楽町会(文京区後楽)
- 第2後楽園アパート自治会(文京区春日)
- 文京区立第9中学校 学校支援地域本部(文京区本駒込)
- 表町町会(文京区春日)
- 神明西部町会(文京区本駒込)
- 向丘追分町会(文京区向丘)
- 西尾久西町会(荒川区西尾久)



後楽町会(小石川諏訪神社)に設置しているプランター

あら、ぶんちよかわら片版

荒川区・文京区・千代田区には地域活性化のために活動されている団体がたくさんあります。そんな活動の一部をご紹介します！



地域連携ステーション

フミコム

フミコムは、区や地域住民、ボランティア・NPO・企業・大学等と連携して新たなつながりを創出し、地域の活性化や地域課題の解決を図っていくための協働の拠点です。文京区社会福祉協議会が運営しています。



フミコムの名称は、「フミ=文の京(ふみのみやこ)」「コム=community(地域)、communication(コミュニケーション)」そして、「踏み込む」の意味を込めています。

●フミコムの主なイベント・事業

であう (イベント)	<ul style="list-style-type: none">・ フミコムcafe : “地域に踏み込むはじめのいっぽ”として、地域に関する様々なテーマのゲストの話聞きながら、新たなつながりや、次のアクションを生み出すキッカケの場。・ フミコム朝活 : 休日の午前中に地域活動にも役立つスキルを身につけ、地域で活躍する準備を応援する講座。
きづく (講座)	<ul style="list-style-type: none">・ 広報講座 : コミュニケーションやデザインの基礎をおさえたチラシの作り方、魅力が伝わるキャッチコピー等、明日から役立つ実践的な内容です。・ ファンドレイジング講座 : 非営利活動の継続にむけて、どのような手順で資金集めの計画を立てるのかや、存続させていく上で重要な視点を学びます。
つながる (相談、Bチャレ)	<ul style="list-style-type: none">・ 企業地域連携推進ネットワーク会議 : 文京区内の企業等と、企業や地域などに関する情報・意見交換を行っています。企業の地域への貢献活動の機会と、事業の発展につながるような仕組みづくりを目指しています。・ Bチャレ(提案公募型協働事業) : 地域課題解決のための事業を実践する活動に助成・伴走をしています。

●開所時間

	月～土	日・祝
窓口開所時間	9:00～19:00	
活動室、ロッカー室、交流スペース利用時間	9:00～21:00	9:00～17:00
印刷室利用時間	9:00～19:00	9:00～17:00

※休館日: 毎月第4月曜日の17:00以降、年末年始(12/28～1/3)
※活動室、ロッカー室、印刷室の利用には団体登録が必要です。
詳細は「どっとフミコム」(<https://www.d-fumi.com/>)をご覧ください。
※交流スペースは、非営利の活動での使用であれば、予約なし、無料でご使用いただけます(Wi-Fi利用可能)

●問合先
社会福祉法人
文京区社会福祉協議会
地域連携ステーション
(フミコム)

〒113-0033
文京区本郷4-15-14
区民センター地下1階

Tel: 03-3812-3044

E-mail:

fumikomu@bunsyakyo.or.jp